



皆さんこんにちは。

蒸し暑かった梅雨もあけ、キラキラの太陽がまぶしくなってきました。夏バテしないように、美味しいものを食べて乗り切りましょうね。さて、今回の通信は、平成 29 年 3 月 22 日にオープンシステムを利用して誕生しました赤ちゃんのお母さんから手記を頂きましたのでご紹介します。

平成 29 年 4 月 9 日予定日の第 2 子。今回も里帰り出産を選択し、さん SUN 助産院のオープンシステムを利用しました。またしても切迫早産で。里帰り早々、2 週間ほど 1 歳 2 ヶ月の長女を母に預けての入院。長女は普段「ママ、ママ」って私から離れないので、とても不安でしたが、「バイバイ」と笑顔で手を振り、帰る娘。私の方が寂しくて、心配で泣いたのを思い出します。

3/21 午前 2 時、2 人目のお産も破水から始まりました。しかし、なかなか陣痛は来ず…。午前 10 時、入院。しかし、全然張らない。おまけに痛みもなくなった。夜になっても陣痛来ず…。なかなか寝れず不安になり、夫に電話しました。夫は「大丈夫！ちゃんとお腹の赤ちゃんとお息を合わせて！赤ちゃんのペースに合わせてあげなきゃダメだよ！絶対ママを困らせたりしない！」と、まるで経験者のようなアドバイス！（笑）それから、赤ちゃんといろんな話をしました。パパのこと、小さなお姉ちゃんのこと、みんなが楽しみに待っていること。ママが一緒だから大丈夫よって。

3/22 午前 4 時、やっと出産するために畳の部屋に移動。母と長女も到着！しかし、本格的な陣痛がこないまま午前 8 時。大橋先生が「ちょっと朝ご飯を食べてきます。」と。私は「こんなに痛いのに、なんで朝ご飯を食べに行くの！！」「行かないで！！」と大騒ぎ。それまでじっと痛みに耐えていた私は大声を出したとたん、いきなり赤ちゃんが産まれるっていう感じの陣痛。長女は背中をなでなでしながら、私の一番近くにおいて支えてくれました。15 分後には、長男誕生！体重 2485g の小さな赤ちゃん。へその緒を首に一回、お腹に二回巻いて出てきたようです。本当に無事に生れてくれて良かった。頑張ってくれてありがとう。

年子育児には、正直不安がありました。でも、とにかく 2 人がかわいい。子ども達にとって何が幸せだろう、何をしたら楽しいだろうと毎日×2 考えます。「大変」だけで、子育てを終わらせたくないと強く思います。

子育てを始めて 1 年 7 カ月。夫の娘や息子に対する深い愛情、私に対する思いやりや気遣い、実母や義父・義母の絶大な協力。2 人の子どもの最高の笑顔。2 人と過ごす時間をこれほどまでに幸せと思える環境を与えてくれる周囲には感謝しかありません。そして、私のお産を支えてくださった大橋先生。大橋先生の言葉は何気ない言葉ですが、ふとした時、よく思い返します。私の人生でとても大きな出来事、出産という一大イベントを支え、私の大切な二人の子どもを一番最初に抱っこしてくれた大橋先生にも感謝です。



☆ 家族は許し合う関係 ☆

私事ですが、以前、大橋先生に「つつい子どもを感情的に叱ってしまうことがあるんです。」という相談をさせていただいたことがありました。その際、先生に「子育てをしているのは、聖母マリア様でも観音様でもなくて、感情を持った人間なのだから、そういうこともあります。」と言われました。「冷静になったときに、しっかり謝罪すればいい。家族だから、許し合えるんです。家族は謝罪し合いながら関係を築いていくのです。」と。このお話を聞いて、私の心はずっと軽くなりました。現代社会は、子育てについての様々な情報が溢れ、ときには、子どもを叱ることすら間違いなのではないだろうかと思ってしまうことがあります。でも、先生のお話を聞いて、「しまったと思ったら謝罪する」という当たり前のことを忘れていたのではと思いました。これからも、きっと悩みは尽きないと思いますが、許し、許される、いい家族関係を築いていけたらいいなと思っています。



このような日常のちょっとした悩みや疑問等を、助産院に設置してあります『みなさんの声 BOX』に投函していただくと嬉しいです。それぞれの悩みや疑問を、いろいろな方と共有できたらいいですね。(o^-^o)